



# しんらい、 信 頼

第5号  
2008年  
7月

平成20年7月9日第1版 市立小樽第二病院広報委員会 発行責任者：馬淵正二



## 救急搬送

救急隊から患者を引き継ぎ治療を開始する(第二病院救急外来)

### 『救急医療を積極的に推進します』

市立小樽第二病院 副院長 田宮 幸彦

市立小樽第二病院は、脳神経・心臓・血管・精神神経の病気を専門的に診療しておりますが、特に脳梗塞<sup>のうこうそく</sup>・脳出血<sup>しんきん</sup>・心筋梗塞<sup>こうそく</sup>・大動脈瘤破裂<sup>だいどうみゃくりゅうはれつ</sup>などの疾患は一刻を争う重症な病気です。

当院は小樽・後志地区における脳・心血管疾患の基幹病院として24時間救急体制のもと、救急車の受け入れや緊急手術に常時対応できるよう努めており、平成19年度の時間外救急患者受け入れ人数は877人（うち、救急車により搬送された方574人）で、年々増加傾向にあります。今後も地域医療連携室の活用や救急隊との連携を深め、より円滑な救急治療に努めてまいります。

市立小樽第二病院は、緊急治療を必要とする患者さまの生命を守るべく、病院基本理念・基本方針のもと職員一丸となって、救急医療を積極的に推進します。



### 【市立小樽第二病院 基本理念】

『市民本意の医療を行い、地域に根ざした市民に信頼される病院を目指します』

#### — 基本方針 —

- 1) 24時間365日、救急医療を積極的に推進します。
- 2) 安全な医療を提供できるように、職員の安全教育を強力に推進します。
- 3) 患者さまの人格、信条を尊重し、患者さまに優しい医療を提供します。



市立小樽第二病院では、基本理念および基本方針として次のように明示しています。

『**24時間365日、救急医療を積極的に推進します**』

これは、高度な治療体制を維持し、市民の皆さまの救命医療を担う、後志の基幹病院としての責務です。

市立小樽第二病院は、主に後志地区全域を対象とする第二次救急医療施設\*であり、脳神経外科・循環器科・心臓血管外科疾患を中心に24時間体制で脳梗塞、脳出血、頭部損傷、心筋梗塞、急性大動脈解離などの重篤救急患者の救命医療を行っています。

※二次救急医療施設

都道府県知事の告示に基づき、手術治療や入院が必要な救急患者を受け入れる医療施設

救急隊が重篤と判断した患者さまや一般の医療機関から、より高度な診療のために救急転送される患者さまが多く、救急搬入件数は、年々増加傾向にあります。



夜間・休日救急患者受け入れ人数（平成19年度）

	受 入 人 数		
	外来患者数	入院患者数	合 計
救急患者受け入れ人数	322人	555人	877人

夜間・休日に救急要請があれば、救急外来の看護師・待機医師が搬送の対応を行い、各病棟に搬入されます。

脳神経外科病棟と循環器科・心臓血管外科病棟にはそれぞれICU（集中治療室）があり、搬送されてくる患者さまは重症な場合が多く、おもに各病棟のICUへ搬入され、待機医師・病棟看護師による集中治療が行われます。

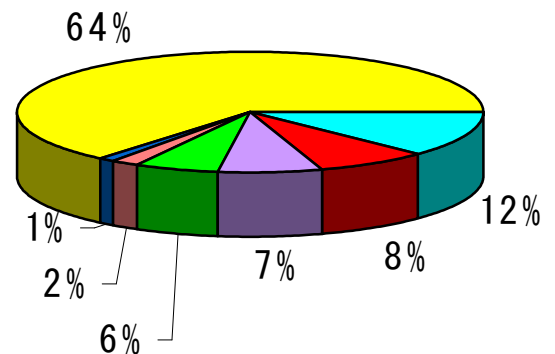
また、患者さまの状態に応じて手術室看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師などの待機者が招集され、治療に必要な体制を整えます。

平成19年度の夜間・休日に救急車で搬送された患者さまは574人、そのうち心肺停止状態で搬送されてきた方は41人いました。

また、救急隊員の臨床実習や勉強会、全職員を対象とした心肺蘇生講習会を開催するなど、救命率の向上をめざして様々な活動を行っています。

救急車搬送患者の傷病・病態状況（平成19年度）

- 重症脳血管疾患
- 心肺停止
- 急性心筋梗塞及び心不全
- 重篤な代謝性障害（腎不全など）
- 重症呼吸不全
- 急性大動脈解離
- 急性中毒



当院は、後志地区の脳・心臓・血管疾患における基幹病院として「24時間・365日 救急医療を推進する」という基本理念のもと、重症患者さまの救命救急に積極的に取り組んでいます。

（写真協力：小樽市消防本部、ホームページより一部転載）



# 喫煙は「治せる病気」です！

## 第1回禁煙セミナーを開催

循環器科医長 高川 芳勲 たかがわ よしとき

3月25日、禁煙推進委員会主催で第1回禁煙セミナーを開催しました。講師はノバルティスファーマ株式会社の営業部長 宮山利信氏で、ご自身も10年前までヘビースモーカーだった方です。

参加者25人中、喫煙者は5人そのうち4人が受講後、禁煙に前向きに取り組む気になったとのことでした。今後も定期的にセミナーを開いて一人でも多くの方の禁煙を手助けしたいと思えます。

禁煙の意思があってもなかなか最初の一步が踏み出せない方にとって、このようなセミナーは大変有意義だと実感しました。お話の中で特に重要と感じたのが、喫煙は病気だという認識です。二

コチン依存症という重要かつ独立した疾病なのです。年間10万人以上の日本人が喫煙で死亡しており、死亡リスクは交通事故の約100倍です。肺ガンリスクは10~20倍、動脈硬化性疾患リスクは1.5~3倍になります。

喫煙は決して「文化」ではありません。もしそうなら過食による肥満や麻薬中毒も「文化」ということになります。喫煙者はたばこを「吸っている」のではなく、「吸わされている」のです。禁煙できないのは意志が弱いと恥ずかしがることはなく、病気のせいなのです。しかも喫煙は治せる病気です。市内でもいくつかの病院で禁煙補助剤が保険で処方できます。



## 14人の新人看護師を迎えて

今年度、当院は14人の新人看護師を採用しました。

医療安全、感染防止、病院理念、第二病院看護師としての心構え、そして注射や医療器械の使用方法などの研修を受けた後、看護の現場で頑張っています。



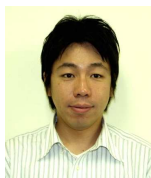
知識や技術は先輩達にかないませんが、とびきりの笑顔と優しい気持ちは誰にも負けません！日々研鑽を積んで1年後には、誰からも頼りにされる看護師になるよう頑張ります。



## ひと・人 第二病院

### 『診療情報管理士』

あばだけ りょう  
阿部 亮 (医療情報管理室勤務)



診療情報管理士の主な仕事は、診療記録(カルテ)の管理と内容の精査、診療情報の分類・統計などの情報管理、そして次の診療に役立てるために、蓄積した記録から必要な情報を抽出・分析するなどがあります。

病気の分類だけでも7000項目以上あり、複雑化する医療情報を正しく効果的に情報提供することで、チーム医療に貢献し、情報を発信する部門として今後も努力していきたいと思えます。

## 患者リストバンドの着用にご協力をお願いします

当院では、患者さまの誤認(取り違い)を防止し、医療の安全性をさらに向上させるため、一般病棟に入院される患者さまに、お名前などを記載したリストバンドの着用をお願いしています。



入院中、ご不便をおかけしますが、患者さまに安全な医療を提供できるよう、より一層努力してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

日本人の死亡原因の第2位は『循環器疾患（心臓・血管疾患）』です。また突然死の原因は、心臓・血管の病気が90%を占めています。心臓・血管の病気を早期に発見し、生活習慣の見直しや適切な治療により発病予防・悪化防止することは、健康を保つ上でとても大切なことです。当院では『心臓ドック』『血管ドック』を行っていますのでご利用ください。

心臓ドック

レントゲンや血液検査に加え、心臓エコー、運動負荷心電図を行い、**狭心症・心筋梗塞などの心臓病の有無について診断**し、総合評価と生活指導を行います。

- 予約制 毎週火曜の午後
- 料金：19,000円

血管ドック

レントゲンや血液検査に加え、CT、血圧脈波検査、頸部エコーを行い、**血管の硬さや詰まりの程度、血管年齢などを判定**し、総合評価と生活指導を行います。

- 予約制 毎週 月曜・金曜の午後
- 料金：19,000円

※心臓ドック・血管ドックともに、症状がある方や異常が発見された場合は健康保険の適用となります。



【ご予約・お問い合わせは】

市立小樽第二病院 地域医療連携室  
電話(代) 0134-33-4151 (内線 163)

あなたのあし大丈夫ですか??

小樽市ふれあいパス交付会場にて『あしの健康コーナー』を開設しました

3/27~4/4、ふれあいパス交付会場（小樽開発ビル・アネックス館）に『あしの健康コーナー』を開設しました。

期間中の来場者数は14,757人。第二病院『あしの健康コーナー』では、心臓血管外科 藤澤康聡医師の製作・監督・主演による、あしの血管の病気についてのビデオ上映とともに、同じくあしの血管の病気である“閉塞性動脈硬化症”や“下肢静脈瘤”などのポスター展を開催しました。



病気の説明に関するポスターとともに、治療に用いる弾性ストッキングの実物展示も行いました。(写真左)



期間中、多数のみなさまにご来場いただきました

今回は、ふれあいパス交付期間のみの『あしの健康コーナー』開設でした。第二病院では今後も「市民の皆さまの健康」のため、さまざまな企画を考えていきます。

(地域医療連携室)

ご覧ください

市立小樽第二病院 ホームページ

小樽第二 検索

[http:// www.med-otaru.jp/dai2hp/index.html](http://www.med-otaru.jp/dai2hp/index.html)

- ◆受付時間 午前8時40分~/午後1時30分~
- ◆休診日 土・日曜日、祝日、年末年始
- 発行：市立小樽第二病院
- 〒047-0036 小樽市長橋3丁目11番1号
- 電話(0134)33-4151・ファックス(0134)32-6347